

セメント系ブリックタイル 標準施工方法

適用下地 :コンクリート、ブロック、レンガ、木造ラスモルタル下地

1:下地処理

下地にゴミ、ホコリ等の付着が無いことを確認して下さい。その後、接着用プライマー（日本化成：NSハイフレックス3倍液）を下地に塗布して下さい。

2:割り付け(ブリックタイルのレイアウト)

色ムラのある商品の場合は、全体の色バランスを見るために、数箱を混ぜ合わせながら並べて下さい。この時、色調が似かよったブリックタイルが隣り合わないようにして下さい。

3:ブリックタイル接着面の整備

ブリックタイルへの樹脂モルタルの付きを良くするため、十分に水湿し、または水湿しの代わりに接着用プライマー（日本化成：NSハイフレックス3倍液）をブリックタイルの裏面に塗布して下さい。

4:接着モルタルの下地への塗布

ご注意事項

施工は、必ず“改良圧着張り”で行って下さい。

接着材料は、セメント系樹脂モルタル(タイルメント:テラタイト)を使用して下さい。

樹脂モルタルは、下地に1～2mm厚のしごき塗りをし、その後2～3mm厚の上塗りをして下さい。また、ブリックタイルを貼る前に、樹脂モルタルが乾きすぎないように、1㎡以上は塗り広げないで下さい。

5:接着モルタルのブリックタイルへの塗布

ブリックタイルの裏側に、中央部が厚くなるよう山形状に、樹脂モルタルを塗布して下さい。

6:ブリックタイルの貼り付け

ブリックタイルを貼り付けるときは、ブリックタイル周囲より樹脂モルタルがはみ出てるまで十分に押さえて下さい。コーナー部分がある場合は、コーナーから施工して下さい。貼り付け作業には、ビブラート等の衝撃工具をご使用下さい。

7:目地詰め

モルタルバック等を使用し、目地部分に隙間ができないよう、目地材を詰めて下さい。

8:目地仕上げ

目地材の硬化を確認後、竹ベラ等で、余分な目地材をかき落としながら押し込んで下さい。
また、作業中にブリックタイルの表面に付着した目地材は、乾燥後、ブラシ等で除去して下さい。

9:コーティング処理

外部への施工の際は、防水効果と表面保護効果のある専用浸透性吸水防止剤（日本化成：NSシランガード）を、ブリックタイルと目地の表面が完全に乾いた状態で塗布して下さい。塗布後、3日間は、絶対に水がかからないように注意して下さい。

10:その他のご注意事項

降雨等で、上記手順に支障がある場合の施工は避けて下さい。

気温3度以下の場合、施工作業を避けて下さい。

酸洗いは、変色の原因となりますので、避けて下さい。